

## 株主メモ

|         |   |
|---------|---|
| 事業年度    | 4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会  | 6月下旬  |
| 株主確定基準日 | 3月31日<br>その他必要があるときは、予め公告いたします。   |
| 公告方法    | 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。<br>公告掲載URL <a href="http://www.aandd.co.jp">http://www.aandd.co.jp</a> |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社<br>本店証券代行部  |

### <郵便物送付先・お問い合わせ先>

|           | 証券会社に口座をお持ちの場合   | 特別口座の場合  |
|-----------|--|--|
| 郵便物送付先    |  | 〒168-8507<br>東京都杉並区和泉2-8-4<br>みずほ信託銀行 証券代行部                        |
| 電話お問い合わせ先 | お取引の証券会社になります。   | 0120-288-324 (フリーダイヤル)   |
| お取扱店      |  | みずほ信託銀行株式会社<br>本店および全国各支店<br>みずほインバスターズ証券株式会社<br>本店および全国各支店        |
| ご注意       | 未払い配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 単元未満の買取以外の株式売買はできません。<br>電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

**AND**  
A&D Company, Limited

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第32期（平成21年3月期）決算をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、当連結会計年度における業績につきましては、米国の金融危機に端を発した世界的な景気悪化の影響もあり、大変厳しい結果となりました。新規事業の計測・制御・シミュレーションシステム（DSPシステム）が伸長し、企業買収（2社）による体制強化も図りましたが、半導体不況や大幅な為替変動の影響等により、全体の売上高は32,181百万円（前年同期比6.8%減）となりました。売上減少に伴い、原価低減等のコスト削減に努めたものの、販売費及び一般管理費が増加したことから、収益面では147百万円の営業損失となり、経常損失は1,767百万円、当期純損失は2,263百万円という結果となりました。

今後につきましては、設備投資や個人消費も依然改善の兆しが見られなまま、しばらくは先行き不透明な状況が続くものと思われま。当社といたしましては、この難局を乗り切るために、効率的な新製品の開発とスピーディーな市場投入により、市場開拓に積極的に努めてまいります。その一方で、設備投資や開発費の見直しを行うとともに、あらゆる経費の削減を図って収益確保に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 執行役員社長  
古川 陽

営業の概況

～計測・計量機器部門～

新規事業のDSPシステムは、アメリカ市場での業績が好調に推移したことから増収となりましたが、他の事業は景気悪化による設備投資抑制等の影響を受けて減収となりました。特に電子ビーム関連ユニットは、半導体不況の影響から大幅な減収となり、全体の売上高は16,197百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

営業利益は、電子ビーム関連ユニットの売上減少の影響及び計量機器の円高に伴う利益率の低下に加え、先行的な開発投資を含め研究開発費が高水準で推移していることもあり、赤字幅が拡大する結果となりました。

今後につきましては、買収した2社（株）サム電子機械及び（株）ベスト測器）とのシナジー効果を高めるとともに、DSPシステムにおいては、国内はもとより北米・欧州・中国と世界をターゲットとして構築した開発・販売体制を生かして、市場を拡大してまいります。また、開発面においては、今後大きな需要が見込まれるハイブリッド車や電気自動車への対応、DSP技術の既存事業への応用・展開を図ってまいります。



～医療・健康機器部門～

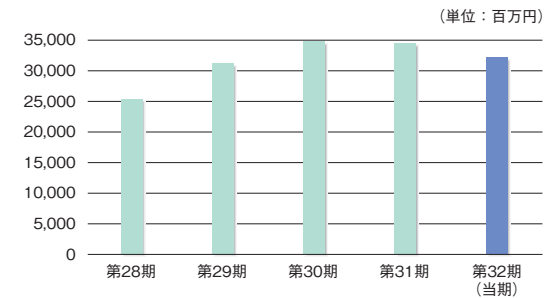
健康機器は、家庭用血圧計の主要マーケットであるロシアにおいては、販売台数は堅調であったもののルーブル安の影響から本邦通貨ベースで大幅な減収となり、新市場の英国では家庭用血圧計や体重計が遠隔医療向けに売上を伸ばすことができました。

国内市場を中心とする医療機器は、円高の影響は殆ど受けず、携帯型血圧計及び全自動血圧計は好調を維持しており増収となりました。その結果、全体の売上高は15,984百万円（前年同期比6.9%減）となりました。営業利益については、為替の影響による家庭用血圧計の利益率の低下に加え、ロシア現地法人において、事業拡大に向けた積極的な人材増強を行ったこと等により、販売費及び一般管理費が増加し大幅減益となりました。

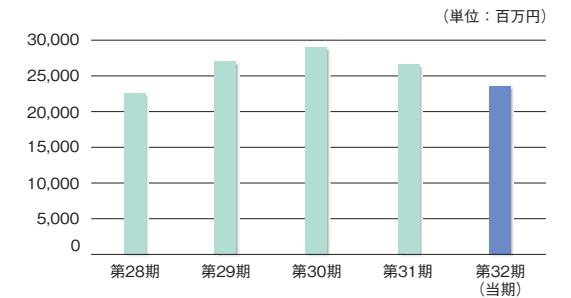
今後につきましては、アジアマーケットの拡大や遠隔医療向け製品の売上伸長を図る等、積極的な市場開拓に努めてまいります。費用面においては、費用が増加したロシアでのコスト削減に継続的に取り組む一方、中国現地法人を中心として更なる原価低減を図ることにより、収益力を強化してまいります。



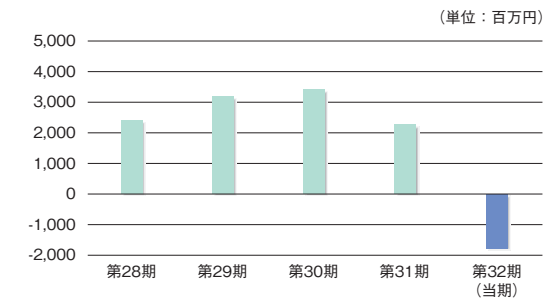
連結売上高



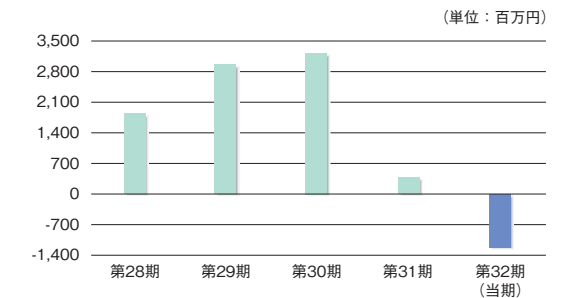
売上高



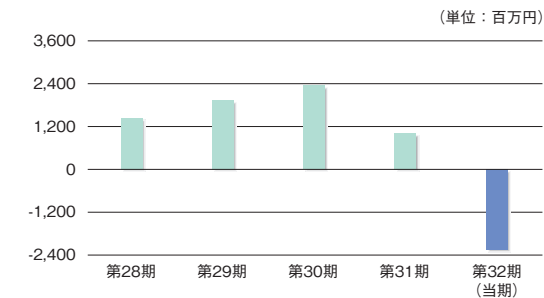
連結経常利益



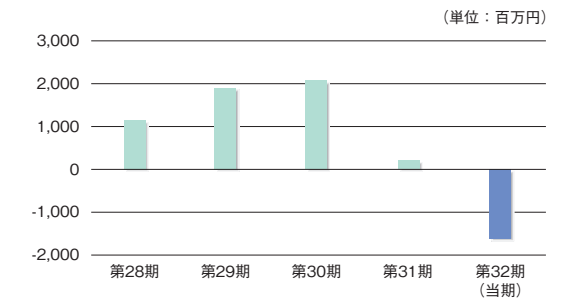
経常利益



連結当期純利益



当期純利益



連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目               | 当 期          | 前 期          |
|-------------------|--------------|--------------|
|                   | 平成21年3月31日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| <b>資 産 の 部</b>    |              |              |
| 流 動 資 産           | 27,361       | 29,625       |
| 現金及び預金            | 3,673        | 3,491        |
| 受取手形及び売掛金         | 9,900        | 13,525       |
| 有 価 証 券           | 118          | 33           |
| た な 卸 資 産         | -            | 10,921       |
| 商 品 及 び 製 品       | 5,616        | -            |
| 仕 掛 品             | 4,178        | -            |
| 原材料及び貯蔵品          | 2,258        | -            |
| 繰 延 税 金 資 産       | 707          | 627          |
| そ の 他             | 1,152        | 1,097        |
| 貸 倒 引 当 金         | △ 243        | △ 71         |
| 固 定 資 産           | 13,496       | 13,959       |
| 有 形 固 定 資 産       | 8,659        | 8,855        |
| 無 形 固 定 資 産       | 3,575        | 3,401        |
| 投資その他の資産          | 1,260        | 1,702        |
| 資 産 合 計           | 40,858       | 43,585       |
| <b>負 債 の 部</b>    |              |              |
| 流 動 負 債           | 22,953       | 19,313       |
| 固 定 負 債           | 3,769        | 4,551        |
| 負 債 合 計           | 26,722       | 23,864       |
| <b>純 資 産 の 部</b>  |              |              |
| 株 主 資 本           | 15,821       | 19,989       |
| 資 本 金             | 6,371        | 6,371        |
| 資 本 剰 余 金         | 6,387        | 6,387        |
| 利 益 剰 余 金         | 4,628        | 7,241        |
| 自 己 株 式           | △ 1,565      | △ 10         |
| 評 価 ・ 換 算 差 額 等   | △ 1,708      | △ 326        |
| 少 数 株 主 持 分       | 22           | 57           |
| 純 資 産 合 計         | 14,135       | 19,720       |
| 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 40,858       | 43,585       |

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目  | 当 期                         | 前 期                         |
|--|-----------------------------|-----------------------------|
|  | 自 平成20年4月1日<br>至 平成21年3月31日 | 自 平成19年4月1日<br>至 平成20年3月31日 |
| 売 上 高  | 32,181                      | 34,541                      |
| 売 上 原 価  | 16,781                      | 17,417                      |
| 売 上 総 利 益  | 15,400                      | 17,123                      |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費                                    | 15,548                      | 13,851                      |
| 営 業 利 益<br>又 は 営 業 損 失 (△)                             | △ 147                       | 3,272                       |
| 営 業 外 収 益  | 174                         | 141                         |
| 営 業 外 費 用  | 1,793                       | 1,148                       |
| 経 常 利 益<br>又 は 経 常 損 失 (△)                             | △ 1,767                     | 2,265                       |
| 特 別 利 益  | 6                           | -                           |
| 特 別 損 失  | 25                          | 35                          |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益<br>又 は 税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失 (△) | △ 1,786                     | 2,229                       |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税                                  | 147                         | 622                         |
| 法 人 税 等 の 更 正、決 定 等 に<br>よ る 納 付 税 額 又 は 還 付 税 額       | △ 93                        | -                           |
| 法 人 税 等 調 整 額  | 414                         | 584                         |
| 少 数 株 主 利 益  | 7                           | 6                           |
| 当 期 純 利 益<br>又 は 当 期 純 損 失 (△)                         | △ 2,263                     | 1,015                       |

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目                              | 当 期                         | 前 期                         |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                                  | 自 平成20年4月1日<br>至 平成21年3月31日 | 自 平成19年4月1日<br>至 平成20年3月31日 |
| 営 業 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー   | 2,216                       | 3,004                       |
| 投 資 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー   | △ 3,566                     | △ 2,277                     |
| 財 務 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー   | 1,560                       | △ 665                       |
| 現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額  | △ 426                       | △ 292                       |
| 現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額 (△は減少) | △ 142                       | △ 230                       |
| 現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高      | 3,041                       | 3,271                       |
| 現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高      | 2,898                       | 3,041                       |

連結株主資本等変動計算書

当期（自平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

（単位：百万円）

|                               | 株主資本  |       |         |         |         | 評価・換算差額等         |              |                | 少数株主持分 | 純資産合計   |
|-------------------------------|-------|-------|---------|---------|---------|------------------|--------------|----------------|--------|---------|
|                               | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金   | 自己株式    | 株主資本合計  | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |         |
| 平成20年3月31日 残高                 | 6,371 | 6,387 | 7,241   | △ 10    | 19,989  | 10               | △ 337        | △ 326          | 57     | 19,720  |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減            |       |       | △ 52    |         | △ 52    |                  |              |                |        | △ 52    |
| 連結会計年度中の変動額                   |       |       |         |         |         |                  |              |                |        |         |
| 剰余金の配当                        |       |       | △ 296   |         | △ 296   |                  |              |                |        | △ 296   |
| 当期純損失                         |       |       | △ 2,263 |         | △ 2,263 |                  |              |                |        | △ 2,263 |
| 自己株式の取得                       |       |       |         | △ 1,555 | △ 1,555 |                  |              |                |        | △ 1,555 |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額（純額） |       |       |         |         |         | △ 13             | △ 1,368      | △ 1,382        | △ 34   | △ 1,416 |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | -     | -     | △ 2,560 | △ 1,555 | △ 4,115 | △ 13             | △ 1,368      | △ 1,382        | △ 34   | △ 5,532 |
| 平成21年3月31日 残高                 | 6,371 | 6,387 | 4,628   | △ 1,565 | 15,821  | △ 2              | △ 1,705      | △ 1,708        | 22     | 14,135  |

■(株)ベスト測器の子会社化

当社グループは、DSPシステムを今後の基幹事業に据え、自動車産業向けを中心に積極的に技術開発及び市場開拓を進めておりますが、事業範囲の更なる拡張を目的として昨年10月に(株)サム電子機械を、今年1月には(株)ベスト測器をそれぞれ買収いたしました。

(株)ベスト測器は、自動車排気ガス濃度測定システムでは日本市場のみならず海外にも豊富な実績をあげており、同社の環境計測技術と当社DSP技術の一体化によって地球環境保全や自動車開発の効率化等ユーザーの高度なニーズに応えることが可能となり、当社グループの更なる業容拡大が可能と判断いたしました。

- (1) 商号 株式会社ベスト測器
- (2) 所在地 京都府八幡市上津屋中堤111
- (3) 設立年月日 昭和62年5月1日
- (4) 主な事業の内容 環境計測機器（エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等）の製造販売
- (5) 決算期 4月30日
- (6) 従業員数 47名
- (7) 主な事業所 京都府他、全国4拠点
- (8) 資本金 2千万円

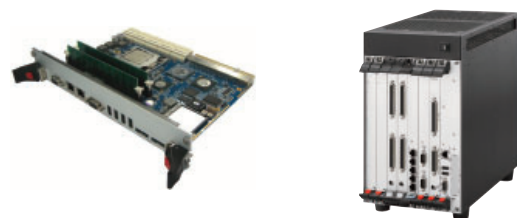


■環境問題とA&D

昨今、地球温暖化の深刻化と石油等の天然資源の枯渇化により、「省エネルギー」や「代替エネルギー」等のための技術開発や制度運用が世界各国で進んでおります。当社のDSP事業の主要顧客である自動車メーカーにおいても、現在の市況は著しく厳しい状況にあるにも関わらず、低燃費でかつ二酸化炭素の排出を抑制するために、ハイブリッド車・電気自動車の開発に精力的に取り組んでおります。

当社におきましては、いち早くハイブリッド車・電気自動車の開発ツールの提供に向けた取り組みを始めており、独自の先進技術で自動車メーカーのニーズに応えることにより、DSP事業の本格的な拡大を目指してまいります。

プロキオン



SBC (Single Board Computer)

本体

ハイブリッド車の開発には、従来のガソリンエンジンに追加してバッテリーやモーター等を新たにコンピューター上でモデル化する必要があり、開発ツールも更に高速度・高精度なパフォーマンスが求められます。当社は、新製品として「プロキオン」を開発、試作品の試験から実車試験までをトータルに行うことが可能なシステムとして、販売を拡大してまいります。

【Corporate data】

- 所在地 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
- 設立 昭和52年5月6日
- 従業員 646名
- 資本金 6,371,367,500円
- 株式の状況

- ① 発行可能株式総数 40,000,000株
- ② 発行済株式の総数 22,325,500株
- ③ 株主数 5,055名
- ④ 大株主の状況

| 株主名  | 当社への出資状況 |       |
|--|----------|-------|
|  | 持株数      | 議決権比率 |
| (株) エー・アンド・デイ  | 2,213千株  | 9.9%  |
| ビービーエイチフォーファイデリティロープライスストックファンド                            | 1,657    | 7.4   |
| エー・アンド・デイ従業員持株会  | 1,536    | 6.9   |
| (株) フルカワ   | 1,533    | 6.9   |
| ビービーエイチ オープンハイマー クエストインターナショナル バリユー ファンド インク               | 1,009    | 4.5   |
| バンク オブ ニューヨーク シーシーエム クライアント アカウント ジェイビーアールティ アイエスジー エフイーイー | 907      | 4.1   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4G)                                | 678      | 3.0   |

⑤ 重要な子会社の状況

| 会社名                   | 資本金           | 出資比率   | 主要な事業内容                |
|-----------------------|---------------|--------|------------------------|
| 研精工業株式会社              | 81,800千円      | 100.0% | 電子天秤及び医科用医療機器の製造       |
| リトラ株式会社               | 200,000千円     | 100.0% | インジケータ、ロードセル及び電子式天秤の製造 |
| 株式会社オリエンテック           | 268,640千円     | 100.0% | 計測機器の製造                |
| 株式会社サム電子機械            | 330,000千円     | 100.0% | 各種試験装置の開発、製造、販売        |
| 株式会社ベスト測器             | 20,000千円      | 100.0% | 環境計測機器の製造販売            |
| A&D ENGINEERING, INC. | 200千米ドル       | 100.0% | 当社製品の販売                |
| 愛安德電子(深圳)有限公司         | 45,000千香港ドル   | 100.0% | 家庭用電子血圧計及び計量機器の製造      |
| A&D RUS CO., LTD.     | 505,247千露ルーブル | 100.0% | 電子計量機器、健康機器の販売         |

(注) 1. 株式会社サム電子機械は、平成20年10月1日付で株式を全株取得して完全子会社としました。  
 2. 株式会社ベスト測器は、平成21年1月5日付で株式を全株取得して完全子会社としました。  
 3. A&D RUS CO., LTDは、平成20年6月2日付にて増資しており、資本金は267,863千露ルーブルから505,247千露ルーブルに増加しております。

【Officer】

取締役及び監査役

- 代表取締役 古川 陽
- 取締役 森島 泰信
- 取締役 江頭 昌剛
- 取締役 行成 洋二
- 取締役 中川 常雄
- 取締役 八坂 賢一郎
- 取締役 村田 豊
- 常勤監査役 新井 参治
- 監査役 清水 昌信
- 監査役 大嶋 浩

執行役員

- 執行役員社長 古川 陽
- 常務執行役員 森島 泰信
- 常務執行役員 江頭 昌剛
- 執行役員 行成 洋二
- 執行役員 中川 常雄
- 執行役員 八坂 賢一郎
- 執行役員 村田 豊
- 執行役員 八木 隆
- 執行役員 福沢 隆一
- 執行役員 高永 義男
- 執行役員 伊藤 貞雄
- 執行役員 高田 信吾